

熊本市 感染症発生動向調査 速報



ヘルパンギーナとは？

コクサッキーウイルスA群などによる、口の中の粘膜に特有の小さい水疱と発熱を主症状とする夏かぜの一種です。潜伏期は2~4日、初夏から秋にかけて乳幼児に多く、感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。回復後にも2~4週間の長期にわたり、便からウイルスが検出されることがあります。

どんな症状？

突然の38~40℃の発熱が1~3日間続き、全身倦怠感、食欲不振、咽頭痛、嘔吐、四肢痛などがある場合もあります。口の中の痛みにより、不機嫌、拒食、哺乳障害、それによる脱水症などを呈することがありますが、ほとんどは予後良好です。



予防法はある？

特別な予防法はありません。
 *感染者との密接な接触を避けるようにしましょう
 *うがいや手指の消毒をしましょう



かかったらどうすればいいの？

特別な治療法はなく、通常は対症療法が行われます。

定点種別	疾患名	状況	21週(5/20~5/26)		22週(5/27~6/2)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	-	14	0.56	19	0.76
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	/	113	4.52	86	3.44
小 児 科	RSウイルス感染症	/	13	0.81	9	0.56
	咽頭結膜熱(プール熱)	-	4	0.25	7	0.44
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	138	8.63	109	6.81
	感染性胃腸炎	-	84	5.25	61	3.81
	水痘(みずぼうそう)	-	10	0.63	1	0.06
	手足口病	-	24	1.50	36	2.25
	伝染性紅斑(りんご病)	-	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	/	6	0.38	7	0.44
	ヘルパンギーナ	-	4	0.25	9	0.56
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	-	0	0.00	1	0.06
眼 科	急性出血性結膜炎	-	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	-	4	0.80	7	1.40
基 幹	細菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	/	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	/	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	/	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	/	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル -:警報・注意報レベルなし